看護学概論	１年・前期	２単位	教授　及川 秀子
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33110531

１．授業のねらい・概要

看護の本質や専門職としての看護とは何かを探求していくための基礎となる看護の概要について学習する。看護は人間・健康・環境をどのように捉えているか，時代を超えて大切にすべきことは何かについて考えると共に，看護の役割・機能について過去・現在の状況をふまえ，未来について展望する。

２．到達目標

１．看護の歴史や理論から看護についての理解を深め，看護観を形成する一歩とすることができる。
２．看護の対象である人間の見方，捉え方の多様性について理解することができる。
３．健康の捉え方および国民の健康と生活像について理解することができる。
４．職業としての看護の成り立ちと養成制度の特徴・課題を理解し，職業としての看護について考えることができる。
５．倫理の基本原則を学び，臨地における倫理的ジレンマについて考えることができる。
６．看護サービス提供の場と看護をめぐる制度・政策について理解することができる。
７．医療安全と医療の質保証に関する概要が理解できる。

３．授業の進め方

講義およびグループワーク・課題発表などを取り入れ，学生の主体的な学習を期待する。

４．授業計画（講義）

１．看護とは	９．看護職養成制度のしくみと課題
２．看護の役割と機能	10．医療をめぐる倫理の歴史的経緯と看護倫理
３．看護の対象の理解	11．看護実践における倫理問題への取り組み
４．人間の「暮らし」 の理解	12．看護をめぐる制度と政策
５．健康とは	13．看護サービスの管理
６．国民の健康と生活の全体像の把握	14．医療安全と医療の質の保証
７．職業としての看護	15．広がる看護の活動領域
８．看護職の資格と養成にかかわる制度	

５．成績評価の方法・基準

定期試験 80%，提出物 20%により総合的に評価する。

６．テキスト・参考文献

・茂野香おる他：系統看護学講座　看護学概論，医学書院
・フローレンス・ナイチンゲール，湯槇ます他訳：看護覚え書き，現代社
・ヴァージニア・ヘンダーソン，湯槇ます訳：看護の基本となるもの，日本看護協会出版会

７．準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

指定された範囲について最低１時間の予習および授業内容の復習を行うこと。

８．受講上の留意事項

遠隔授業：課題提示型授業とし,事前に課題を提示する。授業の１回目に受講に関する資料を添付する。
対面授業：テキストは必ず持参する。参考資料の使用については事前に伝達する。

９．課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は内容をチェックして返却する。内容の不備なものは再提出を求めることがある。
試験については実施の際に解答などを説明する。

10．卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合は進級不可となる。

11．実務経験のある教員等による授業科目

医療機関における看護師としての実務経験を活かして，講義を行う。